

主な事業の内容の記入例

● 本社などで、管理事務を行っている場合

- 主として企業全体や配下の支所の**管理事務**を行っている場合は、「管理事務」と記入するとともに、管理下の全事業所を通じた全体の主な事業の内容を記入してください。

(1)	管理事務 (リネンサプライ)	
(2)	①	おしぼり
	②	
	③	

● 宿泊施設の場合

- 施設の種類のわかるように、「旅館」、「ホテル」、「簡易宿泊所」、「カプセルホテル」、「ユースホステル」などと記入してください。
- 民宿の場合は、営業許可の種類（旅館・ホテル・簡易宿泊所）を記入してください。
- 民泊の場合は、宿泊サービスを提供しているかかわるように記入してください。また民泊の仲介、家主より委託され管理を行っている場合は、その旨を記入してください。

(1)	ホテル	
(2)	①	結婚式
	②	宿泊
	③	レストラン

● リネンサプライ業の場合

- リネンサプライの製品がわかるように記入してください。

(1)	リネンサプライ業	
(2)	①	ホテルリネン
	②	病院白衣
	③	レンタル品の回収

● 手技などによる施術を行っている場合

- 主に療術を行う場合は、施術の内容がわかるように記入してください。
- 主に美容・痩身を目的とするエステティック業の場合は、「エステティック業」、「エステティックサロン」などと記入してください。
- 主に心身の緊張を弛緩させるための手技による施術を行う場合は、「リラクゼーション業（手技を用いるもの）」と記入してください。

(1)	リラクゼーション業 (心身の緊張を弛緩)	
(2)	①	ヘッドセラピー
	②	
	③	

(1)	エステティック業	
(2)	①	美顔
	②	痩身
	③	アロマオイルトリートメント

(1)	リラクゼーション業 (手技を用いるもの)	
(2)	①	手技によるボディケア
	②	手技によるフットケア
	③	手技によるハンドケア

● 浴場業の場合

- 公衆浴場か否かわかるように、「銭湯」、「公衆浴場」、「スーパー銭湯」、「健康ランド」、「サウナぶろ業」などと記入してください。

(1)	スーパー銭湯	
(2)	①	入館料
	②	飲食
	③	マッサージ

● 漫画喫茶、インターネットカフェなどの場合

- 主な営業種目は飲食代か使用料かわかるように記入してください。

(1)	まんが喫茶	
(2)	①	軽食
	②	ドリンク
	③	まんが

(1)	インターネットカフェ	
(2)	①	インターネット
	②	漫画
	③	ドリンクバー

主な事業の内容の記入例（つづき）

● 金券を取り扱う場合

- プレイガイドか金券ショップかわかるように記入してください。

(1)	金券ショップ	
(2)	①	商品券
	②	航空券
	③	

● 学校、塾などの場合

- 洋裁学校、外国語学校などで、専修学校又は各種学校の認可を得ている場合は、その区別がわかるように記入してください。

(1)	外国語学校（専修学校）	
(2)	①	英語
	②	フランス語
	③	スペイン語

(1)	有名幼稚園の受験教室	
(2)	①	幼児教育
	②	受験指導
	③	

● 認定こども園の場合

- 認定こども園の場合は、類型（「幼保連携型」、「幼稚園型」、「保育所型」、「地方裁量型」）があり、その類型がわかるように記入してください。

(1)	幼保連携型認定こども園	
(2)	①	教育・保育・子育て支援
	②	
	③	

● スポーツ施設の提供を行う事業所の場合

- 主な営業種目は会費か指導料かわかるように記入してください。

(1)	テニスクラブ	
(2)	①	クラブ会費
	②	テニススクール
	③	貸コート

(1)	ゴルフスクール	
(2)	①	ゴルフ指導
	②	講習会
	③	

● 理容・美容業の場合

- 施術内容がわかるように記入してください。

(1)	理容業	
(2)	①	カット
	②	アイパー
	③	

(1)	まつげエクステ、ネイル	
(2)	①	まつエク
	②	ネイル
	③	

● 介護サービスを行っている場合

- 介護保険適用か否かわかるように記入してください。

(1)	介護サービス業 (介護保険適用外)	
(2)	①	付き添い
	②	買い物
	③	

[illegible]

経済センサス - 活動調査

- 【10】調査票(サービス関連産業B) □ □

17 サービス収入の内訳

・第1面の①売上(収入)金額の内訳について、分類表に記述している分類の中から売上(収入)金額が大きい分類(上仕の10種類まで)を選び、その分類番号、サービスの種類及び売上(収入)金額を記入してください。(万円で未満四捨五入)

・金額で記入できない場合は、第1面の10欄①売上(収入)金額に占める割合を記入してください。(小数点以下四捨五入)

分類番号	サービスの種類	売上(収入)金額		又は割合(%)
		千円百円十円	円	
①	—		0.000	
②	—		0.000	
③	—		0.000	
④	—		0.000	
⑤	—		0.000	
⑥	—		0.000	
⑦	—		0.000	
⑧	—		0.000	
⑨	—		0.000	
⑩	—		0.000	

金額で記入できない場合は、第1面の10欄①売上(収入)金額に占める割合を記入してください。(小数点以下四捨五入)

・第1面の①売上(収入)金額の内訳について、分類表に記述している分類の中から売上(収入)金額が大きい分類(上仕の10種類まで)を選び、その分類番号、サービスの種類及び売上(収入)金額を記入してください。(万円で未満四捨五入)

・金額で記入できない場合は、第1面の10欄①売上(収入)金額に占める割合を記入してください。(小数点以下四捨五入)

分類番号	サービスの種類	売上(収入)金額		又は割合(%)
		千円百円十円	円	
①	—		0.000	
②	—		0.000	
③	—		0.000	
④	—		0.000	
⑤	—		0.000	
⑥	—		0.000	
⑦	—		0.000	
⑧	—		0.000	
⑨	—		0.000	
⑩	—		0.000	

18. 相手先別収入割合

第1面の10欄①売上(収入)金額②について、
その収入を得た相手先別の収入額割合(%)の合計が100となるように記入して下さい。(小数点以下四捨五入)
第1面上部の区分欄が「1」又は「3」の場合は、記入不要です。

	収入を得た相手先 割合(%)		
① 個人(一般消費者)			
② 個人以外			
合計	1	0	0

[illegible]